

すすかけ

太田市立生品小学校
学校通信〔文責:堀江〕
No. 34
平成31年2月22日

第2回学校評価の結果について アンケート結果



今回は、1月に行った平成30年度の第2回学校評価アンケートの結果について紹介します。アンケートへのご協力たいへんありがとうございました。児童及び保護者アンケートの結果については、別紙のとおりです。

以下に、保護者アンケート結果の分析及びいただいたご意見について述べます。

保護者アンケート結果の分析について

第1回と同様に17項目のうち、14項目は、ア(よくあてはまる)と、イ(ややあてはまる)の合計が80%に達しており概ね良好と判断できました。詳細は、別紙の結果をご覧ください。

<前回より向上が見られるものや、特に良好と判断できるもの> (質問1、2、8、15)

第1回の結果より大きく向上したのは、質問2「授業参観や学校行事、PTAの諸行事には、できるだけ出席している」が4ポイント、質問8「お子さんは相手の立場や気持ちを考えた親切な行動がとれる」が3ポイントでした。児童アンケートの結果からも、「友だちに親切にしていますか。また、友だちがいやがることはしないようにしていますか」が2ポイント向上し95%に達するなど、友だちへの思いやりのある言動といった面で向上が見られました。本校は今年度、県より人権教育推進校の指定を受け、特にいじめの防止に関わる自分や友だちを大切にする教育に力を入れているので、その成果が感じられたことはうれしい限りです。また、質問1「学校の取り組みや、児童の様子がよく分かる」や質問15「自転車に乗るときのヘルメットの着用」もともに2ポイントの向上が見られました。

<前回より下がっているものや、課題となるもの> (質問5、6、11、12)

質問5「学習の基礎・基本が身に付いている」と質問6「毎日30分以上は学習や読書をしている」といった学習内容の定着や家庭学習の習慣についての質問は共に3ポイント下がってしまいました。特に質問6の「家庭学習30分以上」については、69%と70%を割ってしまい大きな課題となっています。それと連動するかのごとく、質問11「規則正しい生活をさせている」が3ポイント、質問12「外に出て遊んだり、運動したりしている」が6ポイントも低下してしまいました。家庭学習の習慣化については、引き続き、学校と家庭で連携しながら工夫していきましょう。

保護者アンケート意見より

○「運動会が午前中のみで弁当なしのプログラムで、大変よかった」「運動会が午前中のみで、場所とりや弁当作りがなく、思い出深い運動会になった」「日中の気温等を考えて来年も午前中のみにしてほしい」等複数いただきました。

ご意見ありがとうございます。今年度の運動会は台風の接近もあり、翌日の日曜日への延期が難しく、延期してしまうと間をおいての平日開催となってしまう状況であったので、急遽、プログラムを省略したり、変更したりして、弁当なしでの開催とさせていただきました。急なことでご迷惑やご心配をおかけしたと思いますが、ご協力ありがとうございました。結果的に雨にもあまり降られず、変更したプログラム通りに実施できてホッとしました。学校では、近年の9月の暑さ等を考慮して、来年度の運動会の練習の軽減や、運動会の実施時間の短縮について考えており、それに伴うプログラムの再構成をしていくと、午前中のみ開催も十分可能な状態です。ただ、運動会は地域の文化的な行事といった役割もありますので、学校の判断のみで、午前中開催

に変更することはいかなものかとも考えます。今回、弁当なしの半日開催について多数「よかった」というご意見いただいたことでもありますので、来年度の早い段階で多方面から広く意見を
集めて、ゴーサインを出してよい状況と判断できれば、運動会半日開催の方向で進めていきたい
と考えています。

○「学校のトイレにスリッパを使用してほしい」といったご意見をいただきました。

昨年度の学校評価でも同様のご意見をいただいたので、トイレの衛生面について気になる保護者の方も多いと認識しています。トイレ専用スリッパの使用は、以前はあったかもしれませんが、スリッパはトイレに置きっ放しになり、洗うことも物理的にできませんので、スリッパ自体が汚くなり、それを児童が使い回すことでかえって不衛生になると考え廃止しています。スリッパを適宜新しいものに入れ替える予算もありません。上履きも不衛生になる部分もあると思いますが、各自が1週間に1度は家に持ち帰って洗濯することができますし、毎日のトイレ清掃で、トイレの床や便器等をしっかり掃除することで清潔さを保つようにしています。

○「教室のエアコンの温度設定が高すぎるのではないか」といったご意見をいただきました。

教室のエアコンの温度設定については、市内全校で同じ温度になるよう設定されており、管理システム自体が学校独自で変えることができない仕様になっております。参観日については、特に保護者の出入り等もあり室温の調整が難しい状況もあったかもしれません。エアコンとともに扇風機も活用して、適切な室温管理に努め、室内で熱中症を出さないよう注意していきたいと思っております。同時に、近年の猛暑を鑑みて、教室のエアコンの温度設定の変更について、教育委員会へ要望を出していこうと思っております。

○「下校時も一人で帰ることがないように、集団下校などの策を考えてほしい」といったご意見をいただきました。

下校に慣れない1年生につきましては、1学期は帰りに全員を集めて、同じ方面ごとに集団で下校させています。他学年については、たとえ同じ6時間で終わったとしても、学級・学年のその時の事情により、帰りの会の終了に多少のずれが生じることもあることや、欠席、早退、家庭の事情等で不定期にお迎えに来るご家庭もあるなど、その日ごとに歩いて下校する児童の掌握が難しいので、毎日全員を帰りの学活後に校庭に集合させて集団下校することは、本校の児童数では難しいと考えます。そこで、学校では、下校については複数で帰るように指導していますので、その指導をより徹底していきたいと思っております。また、生品小では地域のボランティアで構成する「生品小見守り隊」があり、その方々には子どもたちの下校時刻頃に見まもり隊のベストを着て散歩等をしてくださるよう毎年依頼をしております。さらに、地域には「子ども安全協力の家」もございますので、通学路のどこにあるかをお子さんと一緒に確認しておいてください。

○「ランドセルが大変重く、安全と健康のためにできるだけ軽減の工夫をお願いしたい」といったご意見をいただきました。

各学年ともランドセルの重さ軽減対策としていわゆる「置き勉」を認めています。例えば、6年生では国語と算数以外の教科書等は、特に言われないう限り「置き勉」を認めているようです。しかし、自分のロッカーや机の中がいっぱいになってしまい、仕方なく持って帰る児童はいるようです。低学年になると、口頭だけで置いていってよいものと、持ち帰るものを指示してもなかなかしっかり伝わらないこともあると思っております。来年度は、各学年とも「学年だより」等で年度はじめに「持ち帰るもの」と、特に言われなければ「置いていってよい物」を明記するようにして、ランドセルの重さの軽減をより確実に進めていきたいと思っております。

○「PTAバザーについて、毎年出品する物を用意するのも大変なので、2～3年に1度とかにはならないか」といったご意見をいただきました。

ご指摘のとおり、バザーについては毎年出品数が減っている状況で、PTA本部役員会の反省・改善でも同様の意見が出ています。続けるなら毎年行っていないと引継ぎ等が大変になってしまうので、バザー継続か廃止か、資源回収等への変更かといった視点で次年度の本部役員会等で検討していきたいと思っております。

この他にもいくつかご意見やご要望等をいただきましたが、ここでは、学校全体に関わるご意見や、特にたくさん寄せられたご意見のみ掲載しました。いただいたすべてのご意見等は、今後の教育活動を見直したり、改善したりする際に活用させていただきます。また、学校や担任に対するお礼や感謝のお言葉もたくさんいただきました。ありがとうございました。

なお、紙面に掲載しなかったご意見等については、個々に回答をさせていただきますので、該当の保護者の皆様は連絡帳や送付書類をご確認ください。